

牡蠣パイプごみ及び人工芝ごみの 回収・再資源化サービス

TEAM

株式会社 ピリカ

サービスのビジョン

日々大量に発生する海ごみは大きな問題です。一方で「安定した回収」と「アップサイクル」が可能であれば、「新たな資源」として捉え直すことができます。

本サービスでは、瀬戸内海に大量に漂流・漂着・堆積している牡蠣パイプと、摩耗によって年間25トンの海洋流出が推定される人工芝に着目。流出が懸念されるごみの回収、再資源化、製品化のサプライチェーンをごみが発生する地域内で開拓・構築することで、海ごみをプロダクトとして復活させるプロセスを確立します。



サービスの特徴

牡蠣パイプごみ及び人工芝ごみを回収し、破碎・選別のプロセスを経てペレットとして再資源化。輸送用かごや三角コーンなど、ごみの発生場所で活用できる製品として復活させます。



サービスの概要



流出懸念ごみの回収

瀬戸内海で1,600万本の漂流・漂着・堆積が推定される牡蠣パイプ。摩耗により年間25トンの海洋流出が推定される人工芝。これら流出懸念ごみを関係者の協力を得て回収します。



再生ペレット化

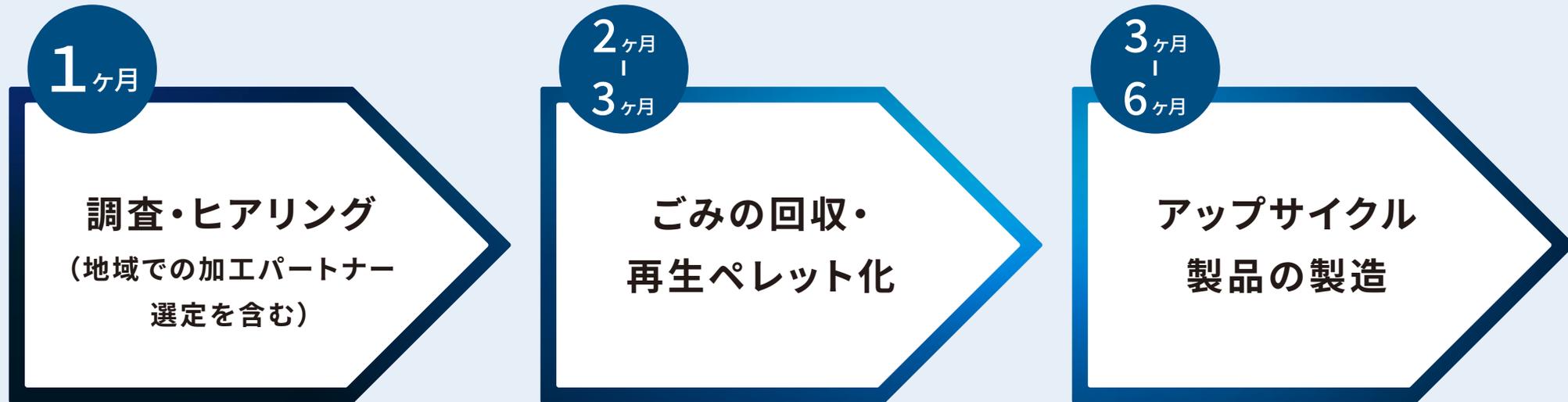
回収した牡蠣パイプごみ及び人工芝ごみを東京理科大学・生野孝准教授の監修のもとで分析・選別・洗浄し、再生ペレットとして資源化します。



アップサイクル製品

プラスチック製造メーカー協力のもと、再生ペレットを含有するプラスチックかごや三角コーンなどのアップサイクル製品を製造します。

プロセスとスケジュール



費用 企画・回収・製造 ▶ 300万円～

チーム紹介



株式会社 ピリカ

所在地：東京都渋谷区宇田川町2-1

代表者：代表取締役 小嶋 不二夫

WEB：<https://corp.pirika.org/>

事業内容

- ごみ拾いSNSピリカの開発・運営
- ポイ捨て調査サービスの提供
- 環境問題解決のための調査・研究

本サービスに関するお問い合わせ

プロジェクト・イックク事務局 (リバネス内)

✉ ikkaku@lne.st

WEBサイトはこちら



<https://ikkaku.lne.st/>



プロジェクト・イッカクについて

プロジェクト・イッカクは、「海ごみ削減を実現するビジネス」を社会実装することを目的に、日本財団・JASTO・リバネスの3者によって2019年に発足しました。

本プロジェクトでは、新技術や従来にない発想をもつベンチャー企業をはじめ、学術機関・町工場・大企業・中小企業などの「超異分野チーム」が連携していくことで、革新的技術の開発や事業化を推進するプロセスを採用。日本財団による支援のもとで、2021年までの3年間で数々のサービスを開発してきました。

2022年4月からは単独のプロジェクトとして、引き続き参画チームと共に「海ごみ削減を実現するビジネス」の社会実装を推進していきます。

